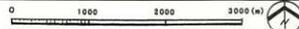


整備計画図 下仁田道1 藤岡市小林～富岡市曾木



上州福島駅

吉井宿 (タイプC)
歴史の道連携拠点

C 多胡碑	国指定特別史跡
<p>[現況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○和銅4年(711)に多胡郡を設置した由来を刻んだ記念碑で、日本三古碑の一つ。 ○周辺は吉井いしぶみの里公園として整備されており、隣接して多胡碑記念館が建設されている。 	

歴史の道連携拠点	歴史の道連携機能
<ul style="list-style-type: none"> ・景観先導機能 ・案内機能(地域) ・情報機能(地域) ・イベント機能 ・体験学習機能 ・観光物産提供機能 ・休憩機能 ・宿泊機能 ・交通結節機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・案内機能(地域) ・情報機能(地域) ・休憩機能

藤岡宿 (タイプC)

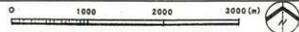
※十街道参照

D 一般県道下高尾・小幡線
<p>[現況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小幡城下町へ至る道である。
小幡の寄並み
<p>[方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆交差点部に小幡城下町への誘導サインを設置する。

B 一般県道金井・倉賀野停車場線
<p>[現況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平井城へ至る道である。
平井城跡
<p>[方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆交差点部に平井城への誘導サインを設置する。

A 白石稲荷山古墳	国指定史跡/5世紀頃
<p>[現況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東日本を代表する前方後円墳である。 ○史跡整備事業である毛野国白石丘陵公園建設事業の一部である。 ○隣接して郷土資料館を建設予定。 	
<p>毛野国白石丘陵公園基本計画平面図</p>	

整備計画図 下仁田道2 富岡市曾木～下仁田町東野牧



下仁田宿～初鳥屋集落(国)

国 下仁田宿～初鳥屋集落

[現況]

○沿道に石造物が多く残っている。



(伊勢山百庚申)



(清水沢百庚申)



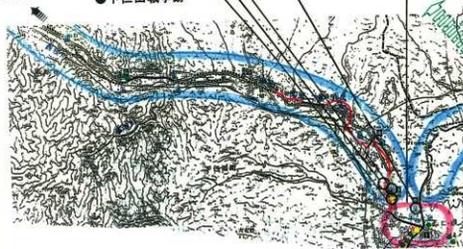
(初鳥屋八十八番所産場)

[方針]

◆歴史探訪ルート(石造物めぐりコース)として整備する。

- 伊勢山下百庚申
- 高崎藩士戦死の碑
歴史民族資料館
- 下仁田戦争跡

下仁田道3へ



下仁田宿(タイプC)

※下仁田道4参照

下仁田道4へ

歴史の道通し機能

- ・案内機能(地域)
- ・情報機能(地域)
- ・休憩機能

上州一ノ宮駅～千平駅(国)

国 宮崎宿(タイプB)



●貫前神社

●七日市藩邸

●旧官堂富岡製糸場

●旧茂木家住宅

関東ふれあいの道
歴史の道通し機能七日市駅
上州一ノ宮駅

西富岡駅

上州富岡駅

東富岡駅

上信電鉄

神農原駅

南蛇井駅

千平駅

富岡宿(タイプC)



A 上州一ノ宮駅～千平駅

[現況]

- 原状のままの道が多く残っている。
- 沿道には石造物が多い。
- 首都圏自然歩道(関東ふれあいの道)の一部である。(旧信州街道のみち)
- ふるさとふれあいの道(富岡市教育委員会)の一部である。(一ノ宮コース)



[方針]

◆歴史探訪ルート(石造物めぐりコース)として整備する。



[整備イメージの例]

C 富岡宿 タイプC 国道254号〔総幅員10.5m：車道7.5m、歩道3.0m（右1.5m、左1.5m）／ 交通量 約8,000台/12h〕、主要地方道富岡・万場線

特徴及び現況

【宿場の特徴】

- 砥沢産の砥石輸送の中継地として開かれた宿場である。
- 宿の西側に七日市藩が置かれていた。

【現況】

- 富岡・甘楽地域の中心都市として市街化が進んでいる。
- 土蔵造りの店舗等の昔ながらの建物がいくつか現存している。
- 七日市藩藩邸の陣屋や家老保阪家の門等が現存している。
- 近代化遺産である旧官営富岡製糸場や消防分団望楼等が現存している。
- 国道254号は交通量が多い。
- 電線類により景観が阻害されている。

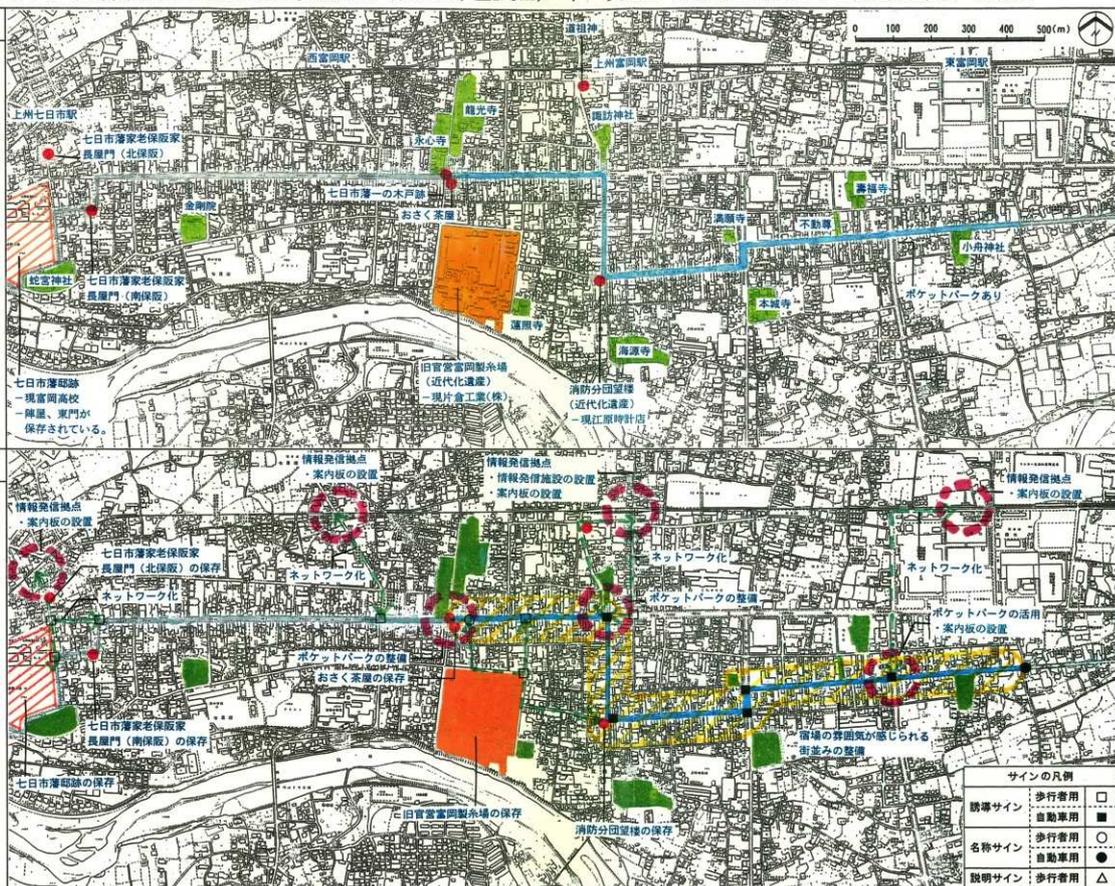
整備方針

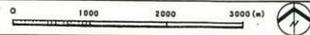
【方針①】宿場の雰囲気を感じられる街並みの整備

- ◆現存する歴史的な建築物の保存
- ◆歴史性の感じられる歩道の舗装整備
- ◆電線類の地中化 等

【方針②】近世・近代を巡る歩行者ネットワークの形成

- ◆駅の情報発信拠点化
- ◆七日市藩関連史跡の保存
- ◆富岡製糸場等の近代化遺産の保存
- ◆ポケットパークの整備
- ◆サインの設置
- ◆駐車場の整備 等





下仁田宿～初鳥屋集落

矢川峠

峠越地点

本宿 (タイプA)

(B)



峠越地点

- ・ イベント機能
- ・ 体験学習機能
- ・ 休憩機能
- ・ 展望機能

● 諏訪神社

下仁田道2へ

内山峠

峠越地点

A 西牧關所跡 下仁田町指定史跡

[現状]

○ 西牧川の河原に關所の親柱を建てたと思われる穴がある。



[方針]

◆ 關所の復元を図り、観光施設として活用する。

● 西牧關所跡 (A)

B 本宿 タイプA [総幅員6.0m：車道6.0m]

特徴及び現況

【宿場の特徴】

- 宿の東側に西牧関所が置かれていた。
- 下仁田道は信州米の輸送の道であり、本宿では米市が開かれていた。

【現況】

- 宿場を感じさせる歴史的な街並みが比較的に残っている。
- 西牧関所は、西牧川の川岸にあった。現在、国道沿いに説明版等が設置されている。

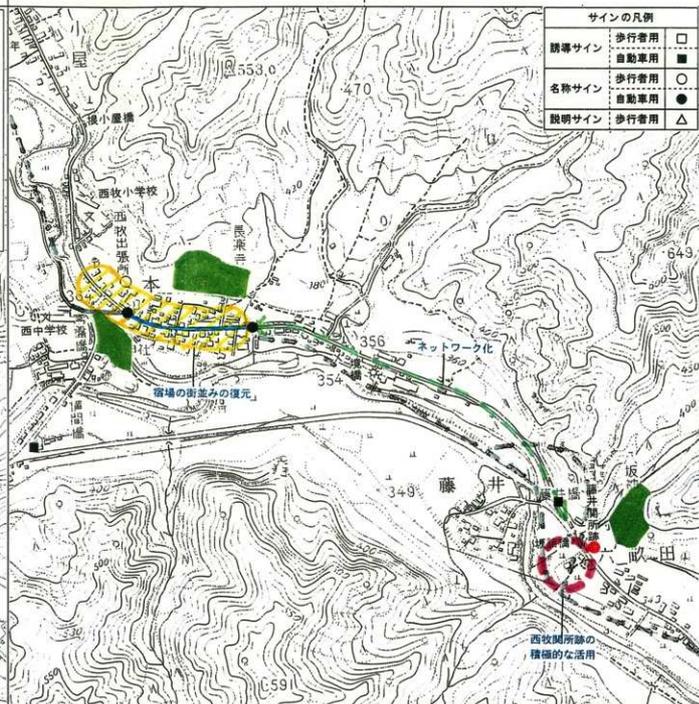
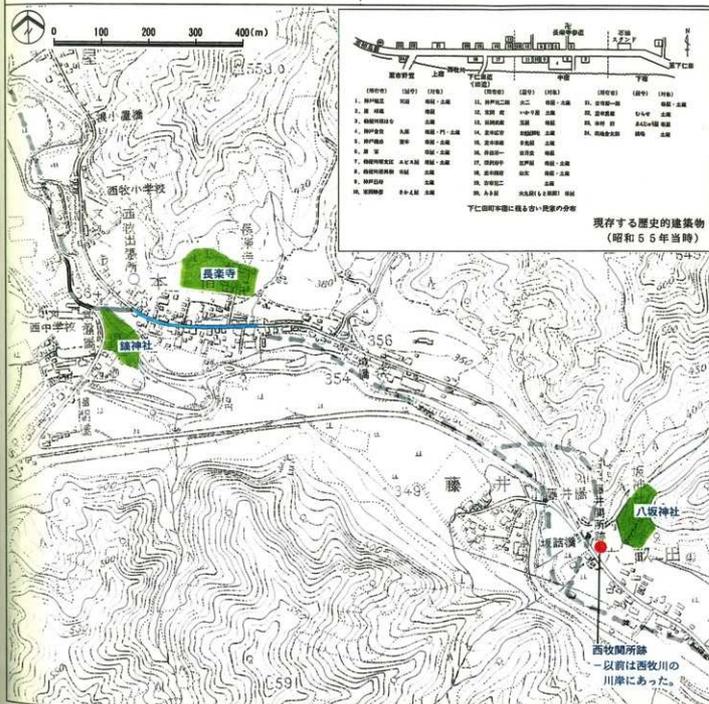
整備方針

【方針①】宿場の街並みの復元

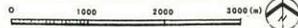
- ◆道の線形、幅員の保存
- ◆現存する歴史的な建築物の保存
- ◆沿道建築物の規制・誘導
- ◆歴史性の感じられる舗装の整備
- ◆電線類の地中化 等

【方針②】西牧関所跡の積極的な活用

- ◆西牧関所の復元
- ◆資料館の整備
- ◆駐車場の整備 等



整備計画図 下仁田道4 下仁田町下仁田～余地峠



熊倉集落～余地峠

【現況】

- 原状のままの道が残っている。



【方針】

- 一道の線形や幅員等を保存する。
- 一熊倉川の渓流を楽しみながら歩ける散策コースとして整備する。
- 一熊倉集落内に駐車場等を整備する。

〔整備イメージの例〕

歴史の道選出優良点

- ・景観先導機能
- ・案内機能(地域)
- ・情報機能(地域)
- ・イベント機能
- ・体験学習機能
- ・観光物産提供機能
- ・休憩機能
- ・宿泊機能
- ・交通結節機能

特選拠点

- ・イベント機能
- ・体験学習機能
- ・休憩機能
- ・展望機能



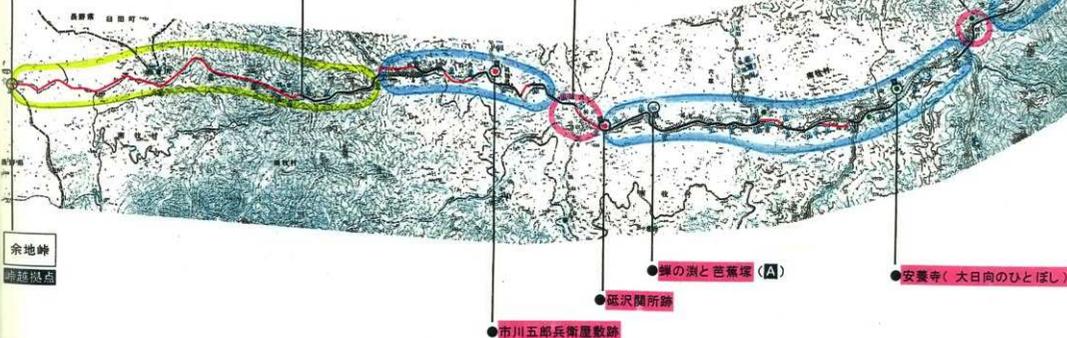
歴史の道選出優良点

下仁田道2へ

上信電鉄

下仁田駅

熊倉集落～余地峠(国)



余地峠
特選拠点

●市川五郎兵衛屋敷跡

●延沢関所跡

●標の洞と芭蕉塚 (A)

●安業寺(大日向のひとほし)

A 標の洞と芭蕉塚 南牧村指定名勝

【現況】

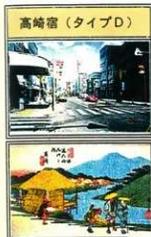
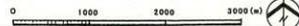
- 南牧川の浸食作用によりできた渓谷で、溪谷にのぞんで松尾芭蕉の「閑さや岩にしみいる蜘蛛の声」の句が、紅葉石にきざんである。



【計画】

- ◆歴史街道整備事業(県道建設課)が計画されている。

整備計画図 中山道1 新町~高崎市並榎町



高崎宿 (タイプD) (D)

赤坂 (C)



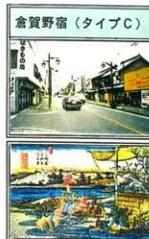
赤坂 (C)

【現況】
○高崎市内で、わずかに残る原状のままの道である。

【方針】
◆舗装整備等の景観整備を行う。



【整備イメージの例】



倉賀野宿 (タイプC) (C)

柳瀬の渡し跡 (B)

【現況】
○現在の河原は緑が覆い残っている。



【方針】
◆高水敷を利用して渡しを復元を図り、レジャーボート乗り場として活用する。
◆サイクリングロードと連絡させる。



【整備イメージの例】

常夜燈 (A) 文化12年/昭和53年複製

【現況】
○中山道と国道17号に挟まれた場所に復元されている。



【方針】
◆ポケットパークとして整備する。
◆群馬の入口であることを表すサインを設置する。



【整備イメージの例】

総合文化センター

三国街道

高崎駅

倉賀野駅

日光例幣使街道

●岩鼻陣屋跡

●観音寺

●北向子育観音

●柳瀬の渡し跡 (B)

●歴史博物館

上越新幹線

●浅間山古墳

●大鶴地古墳

●安楽寺古墳

●須賀喜盛本所

●須賀本所

●常夜燈と道しるべ

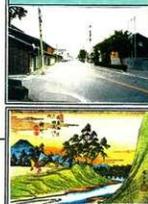
倉賀野河岸
川と道の交差点

十石街道

新町駅

●常夜燈 (A)

新町宿 (タイプC) (C)



エリア連携拠点	川と道の交差点
・景観先導機能	・景観先導機能
・案内機能(全県・地域)	・イベント機能
・情報機能(全県・地域)	・観光物産提機能
・イベント機能	・休憩機能
・体験学習機能	・展望機能
・観光物産提供機能	
・休憩機能	
・宿泊機能	
・交通結節機能	

D 新宿宿 タイプC 一般県道中島・新宿線 [総幅員11.0m：車道9.0m、歩道2.0m / 交通量 約2,100台/12h]

特徴及び現況

【宿場の特徴】

- 中山道を東京側から見て、群馬県で最初の宿場である。

【現況】

- 歴史的な建築物はほとんど現存していない。
- 道の片側に歩道が設置されており、舗装や街路樹、照明等の修景整備が行われている。
- 近代化遺産である新町英学校が現存している。
- 電線類により景観が阻害されている。

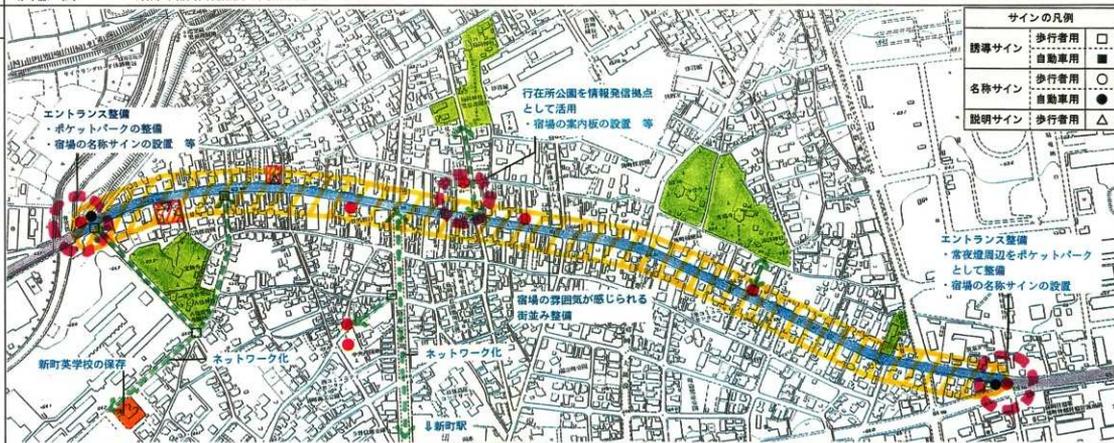
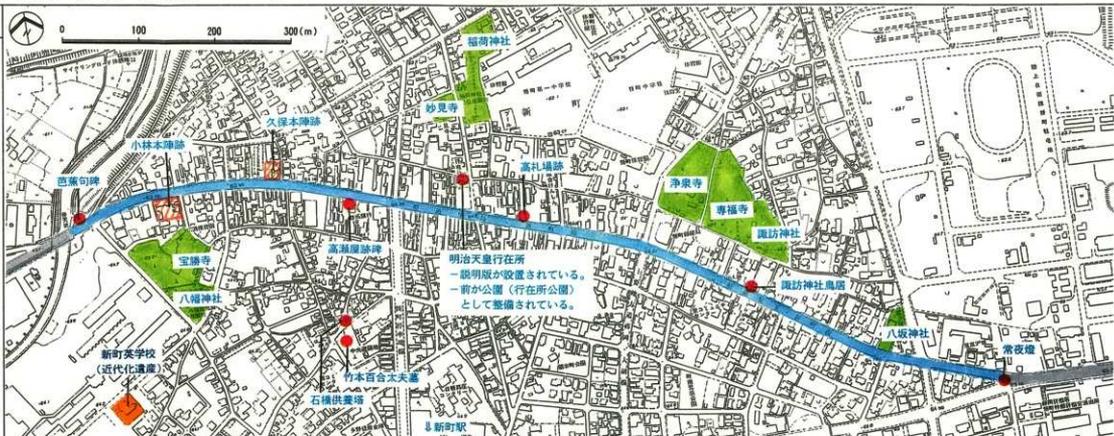
整備方針

【方針①】宿場の雰囲気を感じられる街並み整備

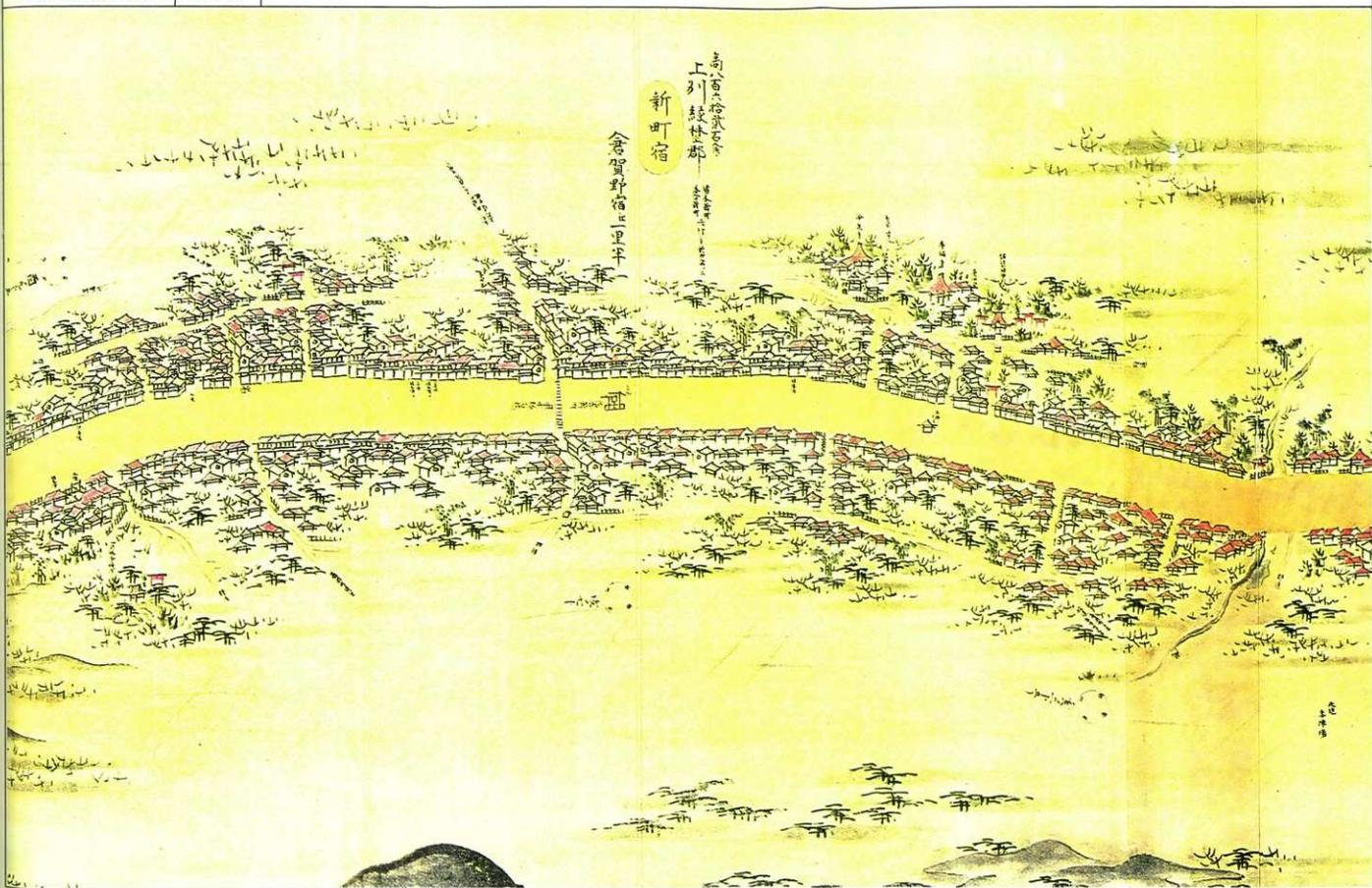
- ◆現存する歴史的な建築物の保存
- ◆電線類の地中化 等

【方針②】歩行者ネットワークの形成

- ◆行在所公園の情報発信拠点化
- ◆ポケットパークの整備
- ◆サインの設置
- ◆駐車場の整備 等



中山道分間延絵図 新宿宿



E 倉賀野宿 タイプC 県道和田多中・倉賀野線〔総幅員11.0m：車道7.0m、歩道4.0m(右2.0m、左2.0m) / 交通量 約12,000台/12h〕

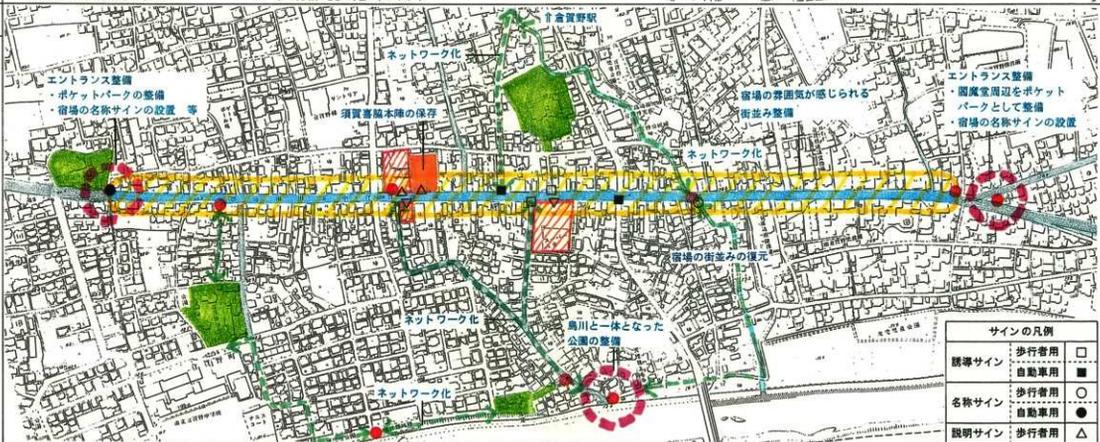
特徴及び現況

- 【宿場の特徴】
- 以前は倉賀野河岸があり、倉賀野宿は物資輸送の拠点として賑わった
 - 日光例幣使街道の分岐宿であった。
 - 悪水堀に架かっていた太鼓橋は、江戸時代、中山道に数える橋の中で名橋の誉れが高い橋だった。
- 【現況】
- 須賀喜臨本陣が現存している。
 - 倉賀野河岸跡は、人工護岸となっており、川岸には近づけない。
 - 悪水堀跡はコンクリートで蓋がされ、歩行者専用道路となっている。
 - 電線類により景観が阻害されている。



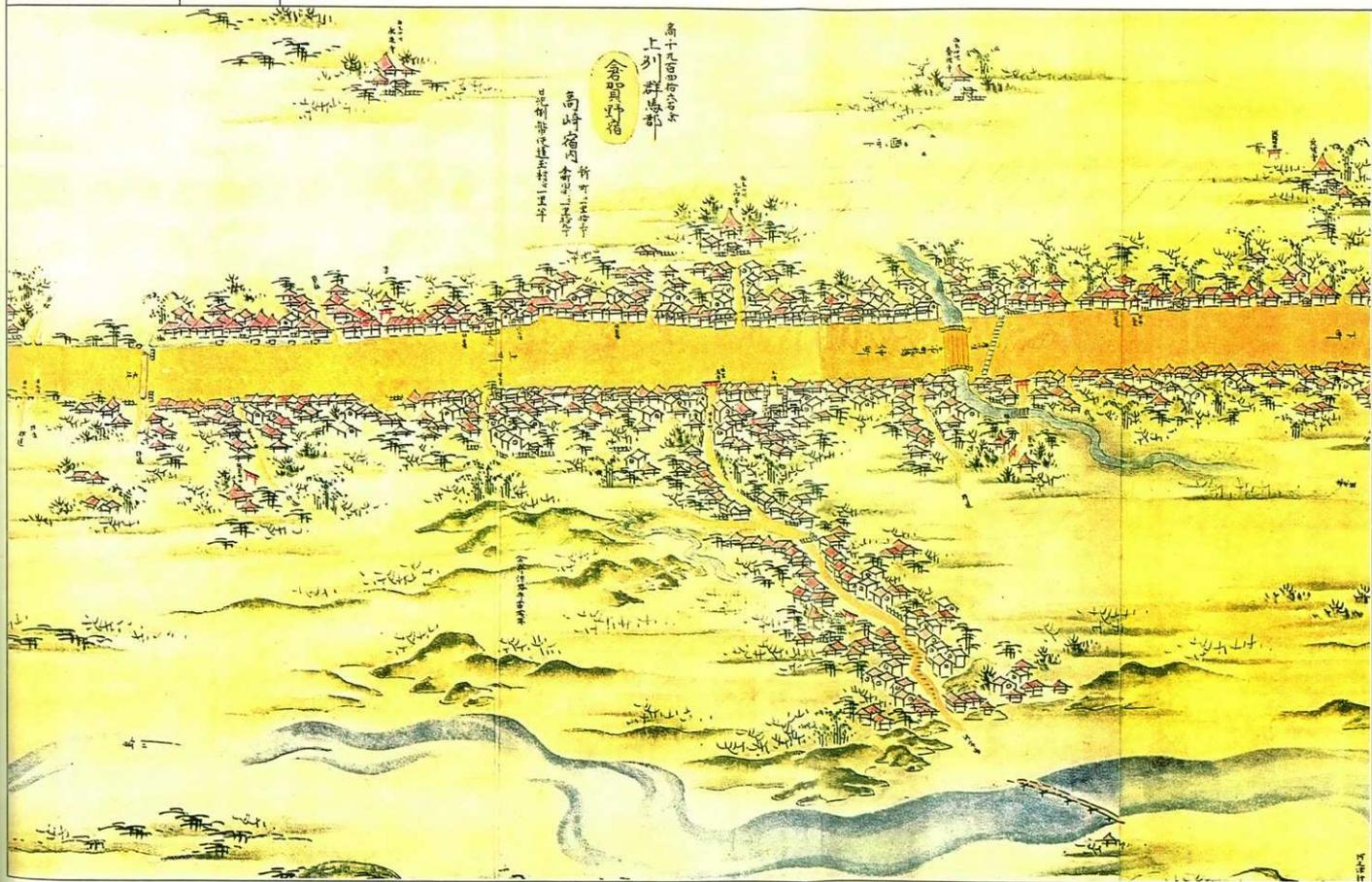
整備方針

- 【方針①】宿場の雰囲気を感じられる街並み整備
- ◆須賀喜臨本陣跡の保存
 - ◆現存する歴史的な建築物の保存
 - ◆歴史性の感じられる歩道の舗装整備
 - ◆太鼓橋の修景整備
 - ◆電線類の地中化 等
- 【方針②】倉賀野河岸・悪水堀跡等を活用した歩行者ネットワークの形成
- ◆倉賀野河岸跡の親水公園化
 - ◆ポケットパークの整備
 - ◆サインの設置
 - ◆駐車場の整備 等



サインの凡例	
誘導サイン	歩行者用 □ 自動車用 ■
名称サイン	歩行者用 ○ 自動車用 ●
説明サイン	歩行者用 △

中山道分間延絵図 倉賀野宿



F 高崎宿 タイプD 一般国道354号等 [総幅員20.0m：車道11.0m、歩道9.0m(右4.5m、左4.5m) / 交通量 約12,000台/12h]

特徴及び現況

【宿場の特徴】

- 高崎城の城下町であり、本陣、脇本陣等はおかれなかった。
- 三国街道、信州街道等の分岐宿であった。
- 寺社が多い。

【現況】

- 都市化が進み、宿場の面影は残っていないが、赤坂坂にわずかに昔の面影が残っている。
- 高崎駅は上越新幹線の駅であり、県外から群馬県への玄関口となっている。

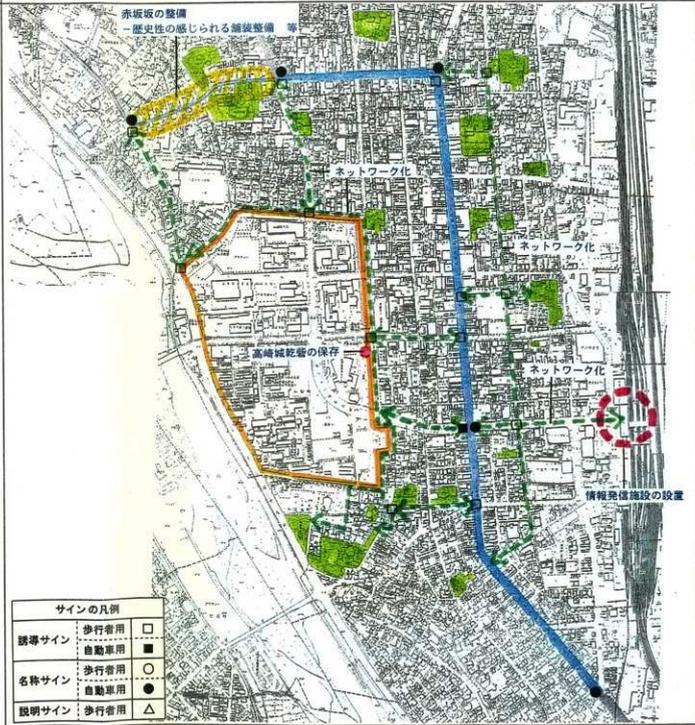
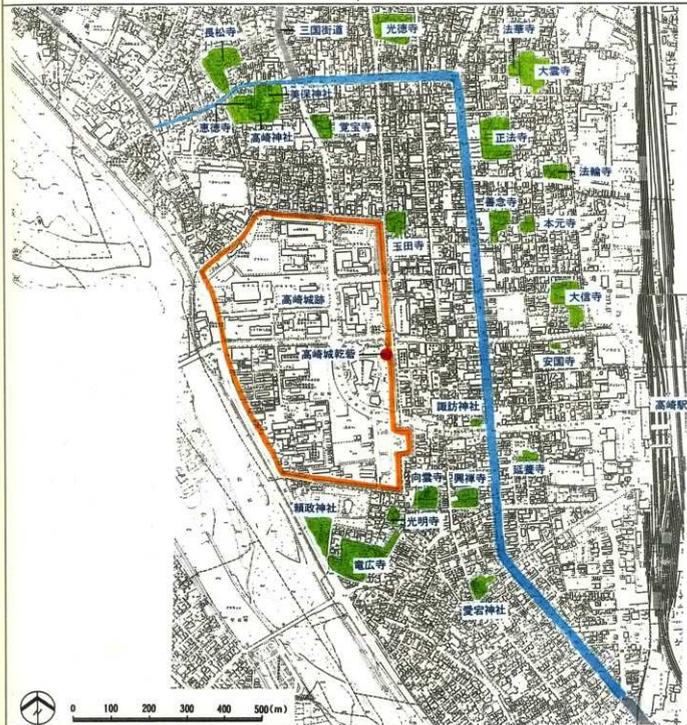
整備方針

【方針①】 歴史の道の情報発信施設の設置

- ◆高崎駅への情報発信施設の設置
- ◆総合案内板、ガイドブック等の設置
- ◆歴史の道指導員の配置 等

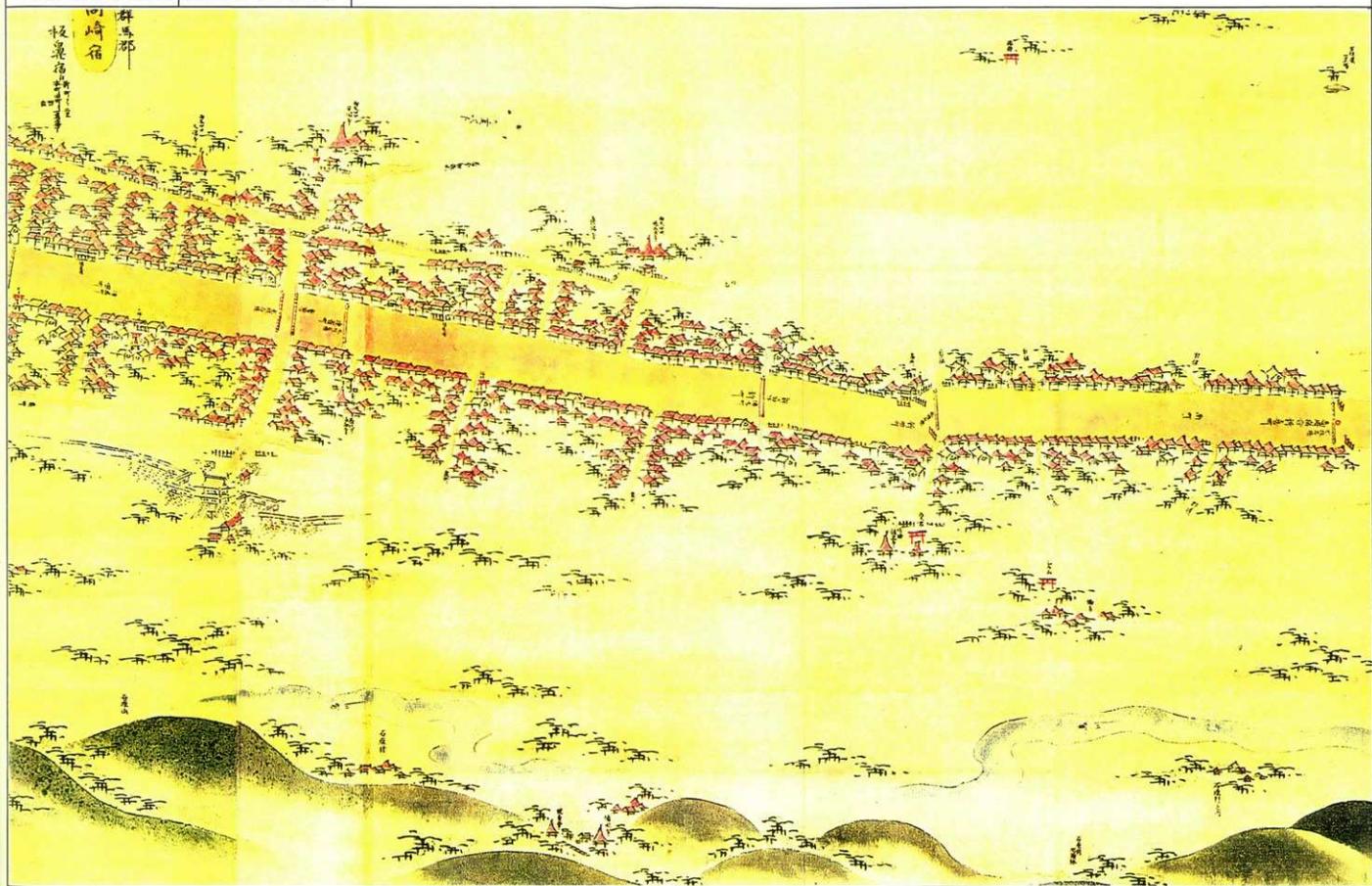
【方針②】 高崎城跡、寺等を巡る歩行者ネットワークの形成

- ◆赤坂坂の整備
- ◆サインの設置
- ◆駐車場の整備 等

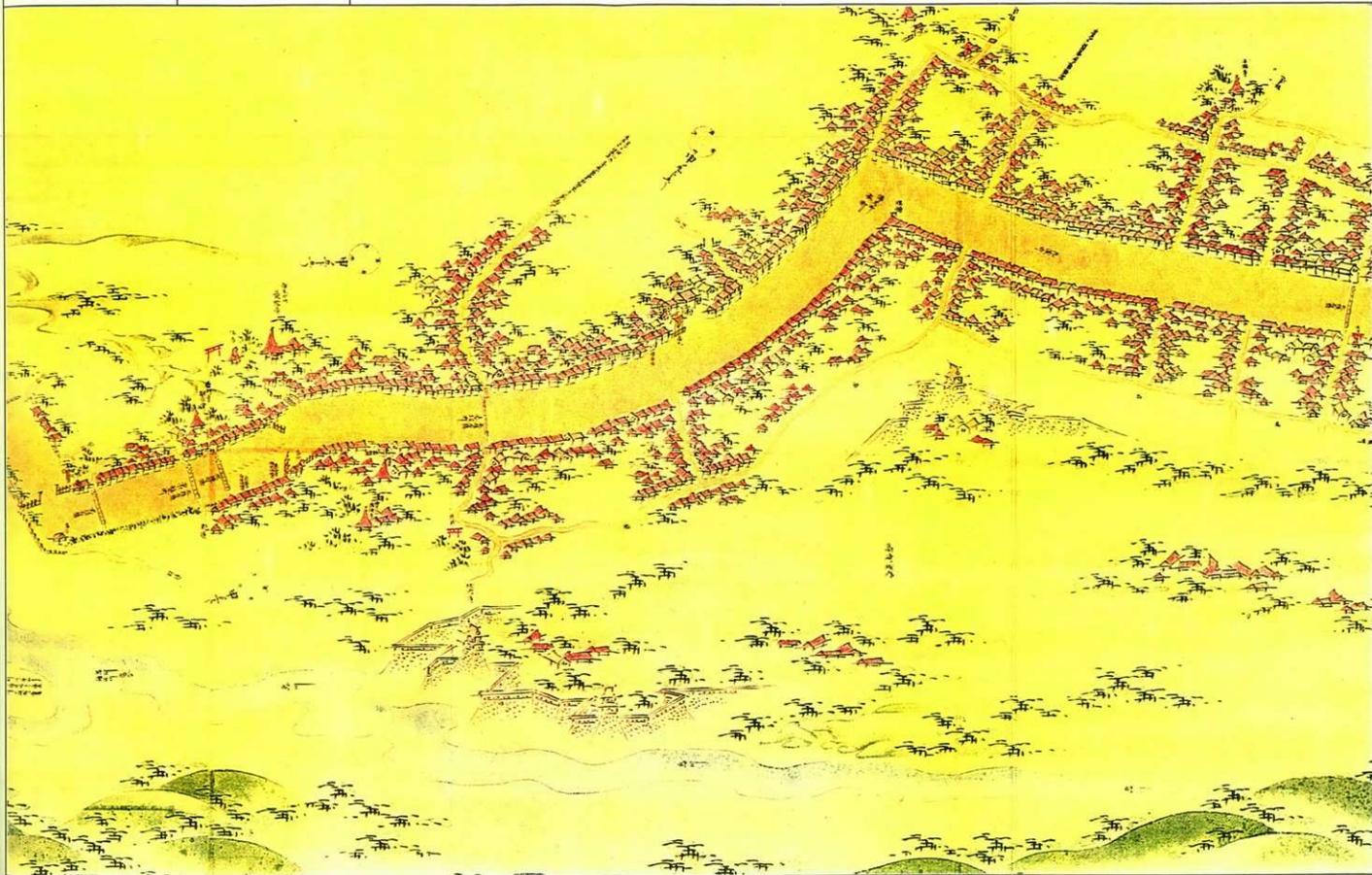


サインの凡例	
誘導サイン	歩行者用 □
	自転車用 ■
名称サイン	歩行者用 ○
	自転車用 ●
説明サイン	歩行者用 △

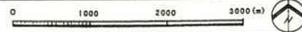
中山道分間延絵図 高崎宿（その1）



中山道分間延絵図 高崎宿（その2）



整備計画図 中山道 2 高崎市並榎町～松井田町松井田



松井田宿 (タイプB) (B)



歴史の道連携拠点

安中・原市杉並木 国指定天然記念物

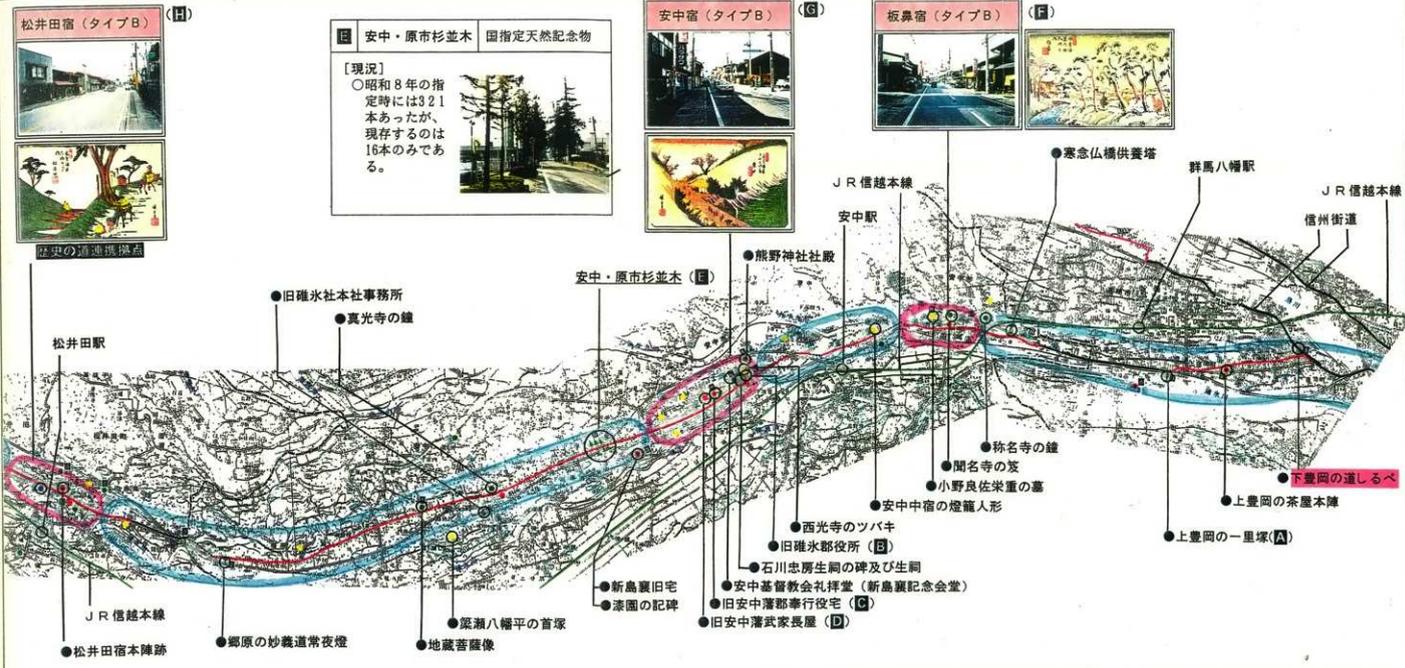
〔現況〕
○昭和8年の指定時には321本あったが、現存するのは16本のみである。



安中宿 (タイプB) (B)



板鼻宿 (タイプB) (B)



歴史の道連携拠点

- ・景観先導機能
- ・案内機能(地域)
- ・情報機能(地域)
- ・イベント機能
- ・体験学習機能
- ・観光物産提供機能
- ・休憩機能
- ・宿泊機能
- ・交通結節機能

D 旧安中藩武家長屋

〔現況〕
○幕末から明治の図面が残っており、建物が復元されている。



C 旧安中藩御奉行役宅 安中市重文

〔現況〕
○当時の武家屋敷の姿をよく残している。
○復元修理工事が行われている。



B 旧碓氷郡役所 安中市重文/明治

〔現況〕
○県内で唯一現存する郡役所である。
○現在、保存整備事業が実施中である。

写真

A 上豊岡の一里塚 県指定史跡

〔現況〕
○県内で形の残る唯一の一里塚である。
○ポケットパークとして整備されている。



板鼻宿 タイプB 主要地方道前橋・安中・富岡線 [総幅員10.0m：車道10.0m]

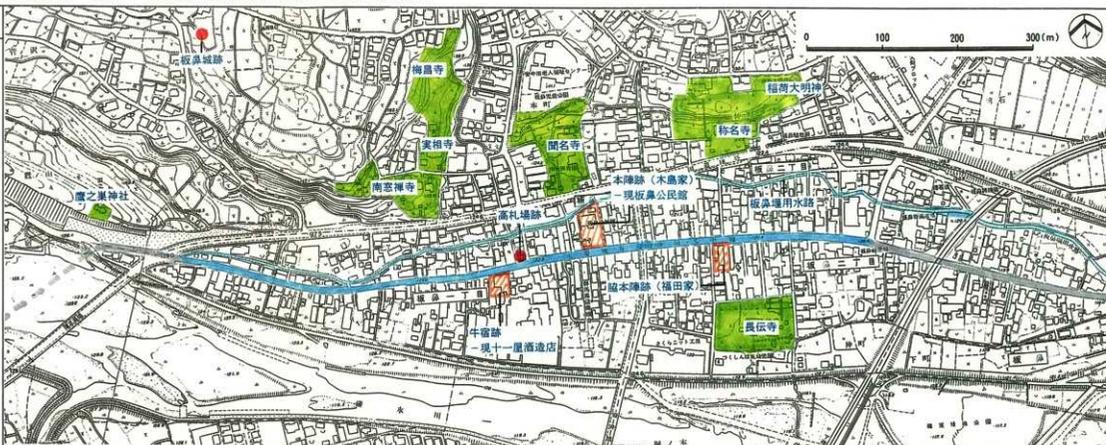
特徴及び現況

【宿場の特徴】

○群馬県内の中山道7宿のうち、一般旅人の宿屋が最も多く、宿場としてはかなり繁盛していた。

【現況】

- 道の線形、幅員等は原状をとどめている。
- 牛宿跡が現存している。
- 宿場の北側に国道18号のバイパスが通ったため、宿場の中の道は交通量が少なく閑散としている。
- 宿の北側に寺院が建ち並んでいるが、国道18号が横断しているため、参道は分断されている。
- 宿の南側には碓氷川が流れている。
- 宿の西側にある鷹之巣山の山頂からの眺めは素晴らしい。
- 電線類により景観が阻害されている。



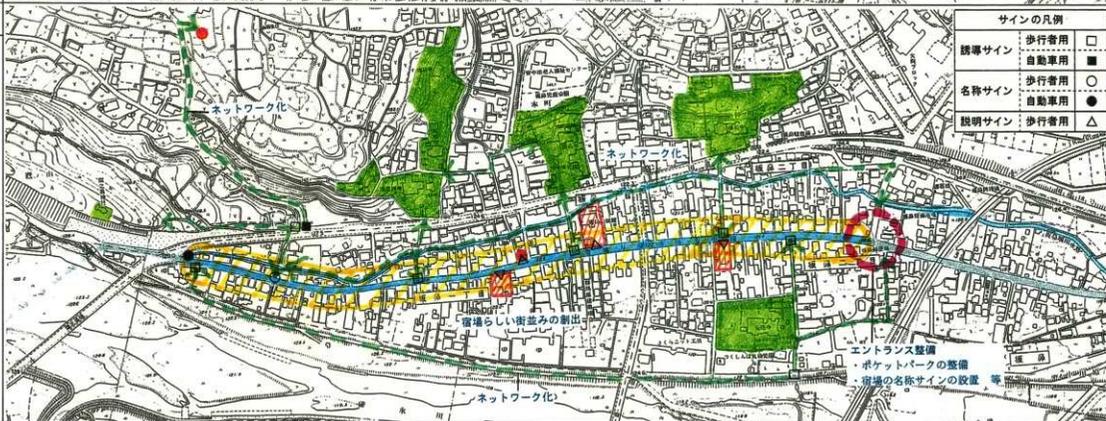
整備方針

【方針①】宿場らしい街並みの創出

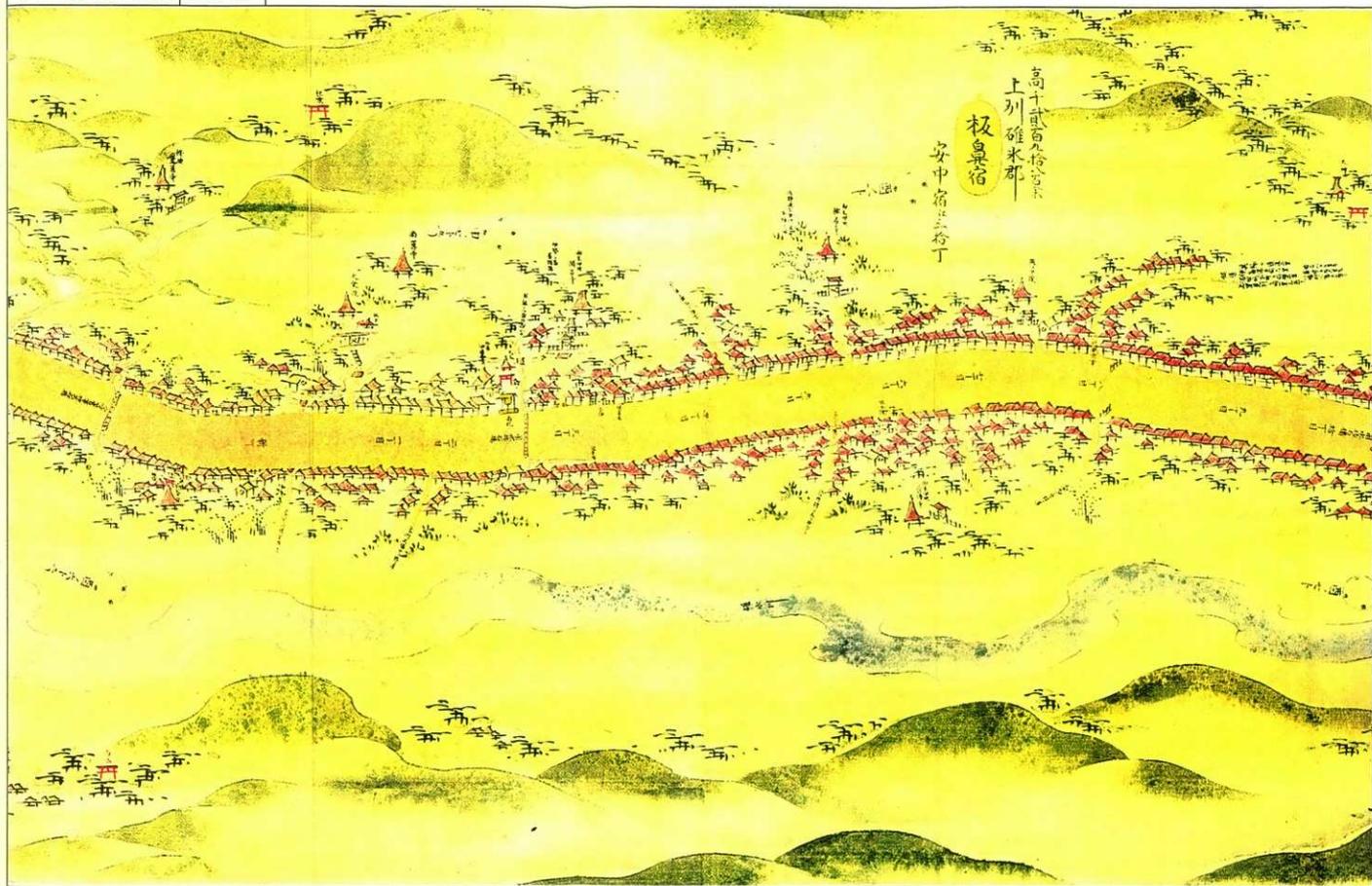
- ◆道の線形、幅員等の保存
- ◆現存する歴史的な建築物の保存
- ◆看板等の規制・誘導
- ◆歴史性の感じられる歩道の舗装整備
- ◆電線類の地中化 等

【方針②】周辺の自然環境等を活かした歩行者ネットワークの形成

- ◆ポケットパークの整備
- ◆サインの設置
- ◆駐車場の整備 等



中山道分間延絵図 板鼻宿



G 安中宿 タイプB 一般県道一本木平・小井戸・安中線〔総幅員10.0m：車道7.0m、歩道3.0m（右1.5m、左1.5m） / 交通量 約6,000台/12h〕

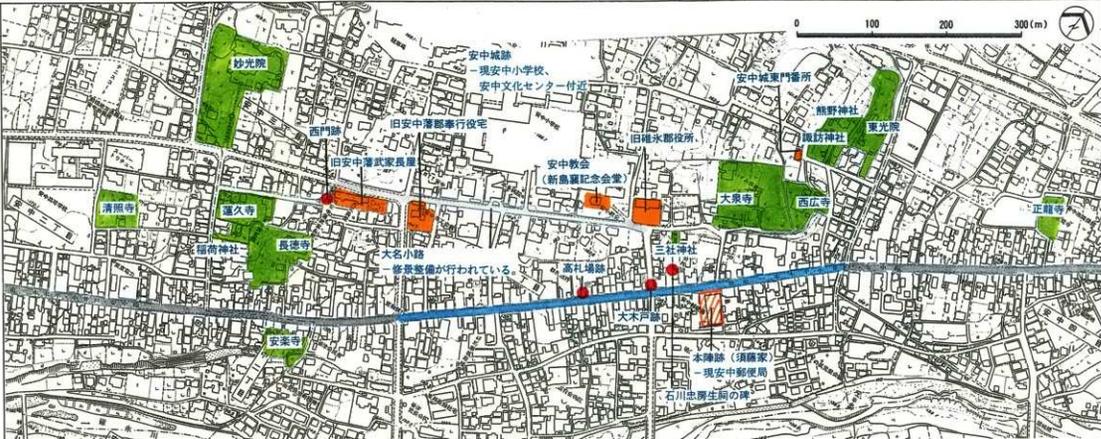
特徴及び現況

【宿場の特徴】

○安中城の城下町であり、宿場としての規模は小さかった。

【現況】

- 道の線形、幅員等は原状をとどめている。
- 旧安中藩郡奉行役宅や武家長屋が移築復元されている。
- 安中城内の道であった大名小路は修景整備が行われている。
- 近代化遺産である安中教会や旧碓水郡役所等の建物が現存している。
- 宿場の道は電線類により景観が阻害されている。



整備方針

【方針①】宿場らしい街並みの創出

- ◆道の線形、幅員等の保存
- ◆現存する歴史的な建築物の保存
- ◆看板等の規制・誘導
- ◆歴史性の感じられる歩道の舗装整備
- ◆電線類の地中化 等

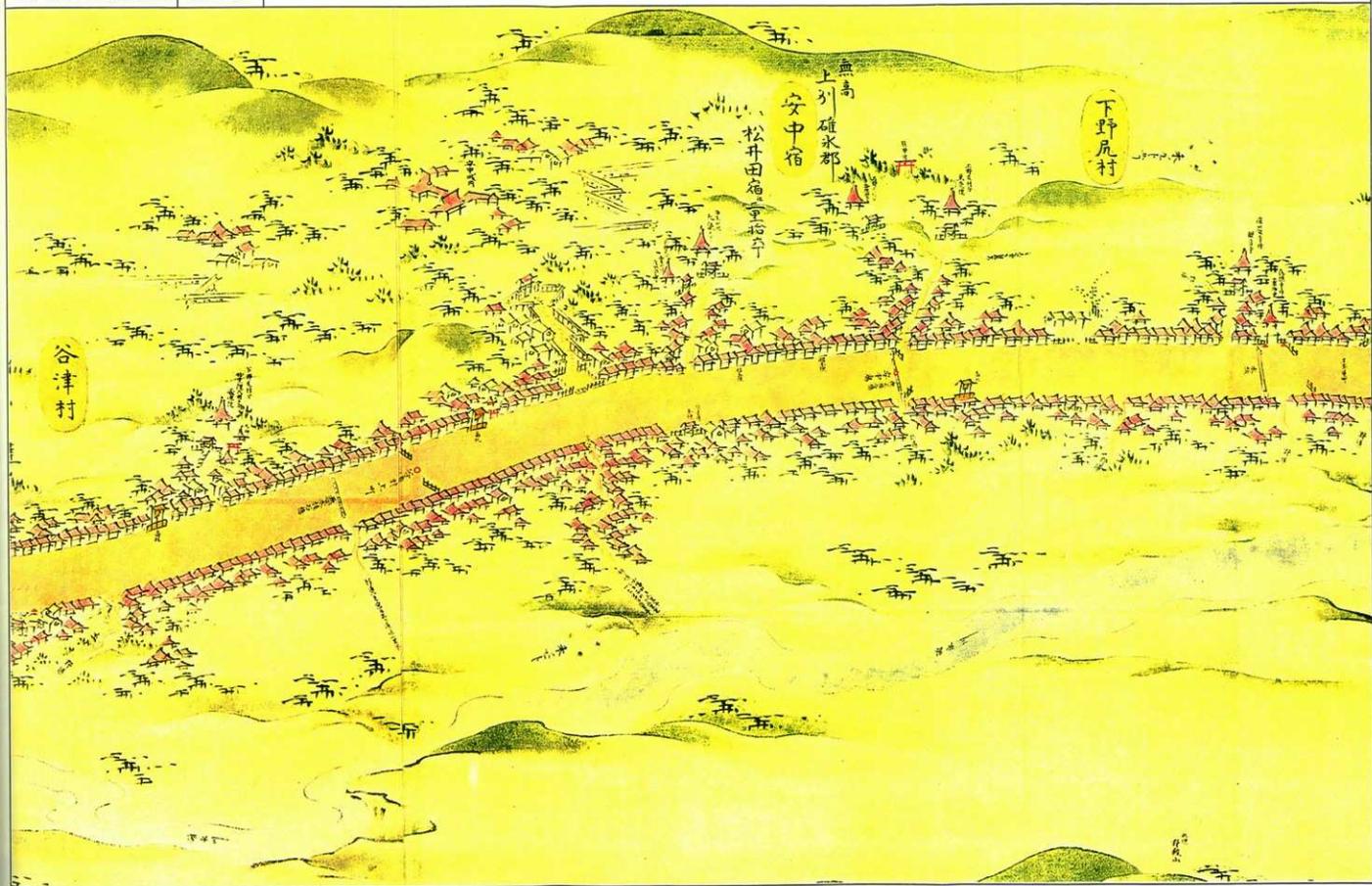
【方針②】近世、近代を巡る歩行者ネットワークの形成

- ◆旧安中藩郡奉行役宅、武家長屋の保存
- ◆安中教会、旧碓水郡役所の保存
- ◆ポケットパークの整備
- ◆サインの設置
- ◆駐車場の整備 等



サインの凡例	
誘導サイン	歩行者用 □
	自動車用 ▢
名称サイン	歩行者用 ○
	自動車用 ●
説明サイン	歩行者用 ▲

中山道分間延絵図 安中宿



松井田宿 タイプB 主要地方道渋川・松井田線 [総幅員11.0m：車道8.0m、歩道3.0m(右1.5m、左1.5m) / 交通量 約5,200台/12h]

特徴及び現況

【宿場の特徴】

- 信州米の江戸廻米の中継地であり、米市も開かれていた。
- 松本本陣は、出入口4カ所の門を構え、室数23室、店用9室、その他土蔵、中庭、裏庭と、他に比を見ない広大な屋敷であった。
- 道の両側に側溝があった。

【現況】

- 道の線形、幅員等は原状をとどめている。
- 松本本陣跡には、庭園や井戸、土蔵等が現存している。
- 側溝には蓋がされ、歩道となっている。
- 電線類により景観が阻害されている。

整備方針

【方針①】宿場らしい街並みの創出

- ◆道の線形、幅員の保存
- ◆現存する歴史的な建築物の保存
- ◆看板等の規制・誘導
- ◆歴史性の感じられる歩道の舗装整備
- ◆側溝の復元
- ◆電線類の地中化 等

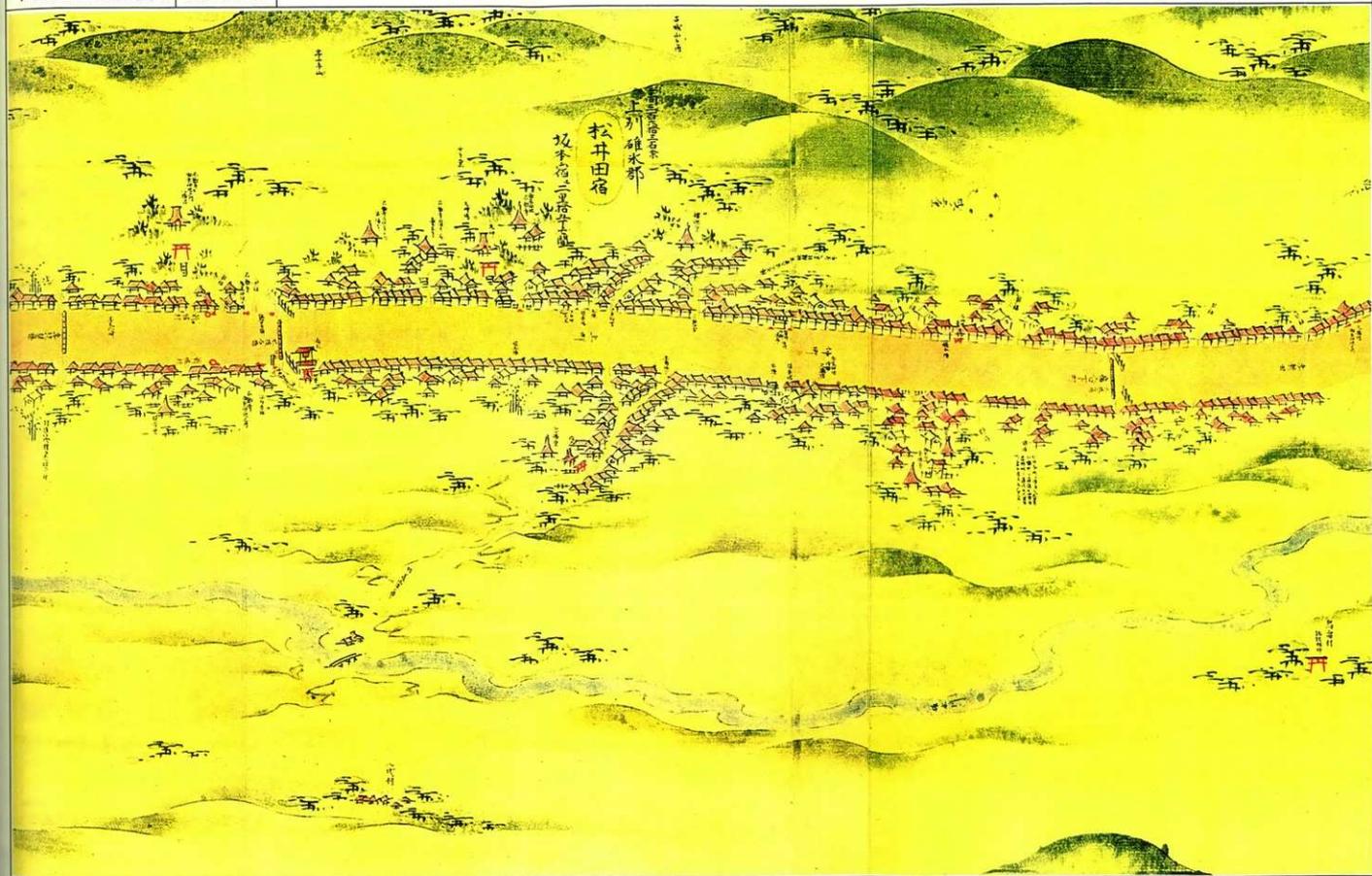
【方針②】様名道、妙義道等を活用した歩行者ネットワークの形成

- ◆ポケットパークの整備
- ◆サインの設置
- ◆駐車場の整備 等

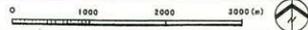


サインの凡例	
誘導サイン	歩行者用 □
	自動車用 ■
名称サイン	歩行者用 ○
	自動車用 ●
説明サイン	歩行者用 △

中山道分間延絵図 松井田宿



整備計画図 中山道3 松井田町松井田～碓氷峠



D 坂本宿～碓氷峠

[現況]

- 原状のままの道が残っている。
- 碓氷ルネサンス・トレイル整備計画が計画中である。
- 中部北陸自然歩道(環塊行)の整備が計画されている。

[方針]

- ◆上記計画との整合を図りながら、ハイキングコースとして整備する。

A 五料茶屋本陣 県指定史跡

[現況]

- お西、お東の2軒が隣立し、共に修復され一般公開されている。

[方針]

- ◆前の空地进行休憩スペースとして整備する

[整備イメージの例]

歴史の道連携軸	峠越え拠点
<ul style="list-style-type: none"> ・案内機能(地域) ・情報機能(地域) ・休憩機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント機能 ・体験学習機能 ・休憩機能 ・展望機能

E 覗き

[現況]

- 坂本宿や遠く高崎市の方まで一望できるビューポイントである。

[方針]

- ◆展望機能を持つ休憩施設を整備する。

F 坂本宿(タイプB)

G 朔石(四軒)茶屋跡・山中茶屋跡

[現況]

- 碓氷峠の中心的場所、かつては人家が十三軒あり、ワジ餅をあきなう茶店が賑わった。

山中茶屋跡

H 碓氷関所跡 県指定重要文化財

[方針]

- ◆数棟者の休憩所として茶屋を復元する。

[整備イメージの例]

[現況]

- 日本三大関所の一つであり、東門が復元されている。また、当時の石垣も残っている。

[方針]

- ◆関所の積極的な復元を図り、横川茶屋本陣と一体的に整備し、観光資源として有効に活用する。
- ◆ただし、できるだけ史料に忠実に復元することが望ましい。

B 信越本線廃線区間

[現況]

- 北陸新幹線開通後、廃線となる。
- 碓氷ルネサンス・トレイル整備計画において、遊歩道が計画されている。

[方針]

- ◆歴史探訪ルートの一部とする。

夏ふれあいの道 歴史の道連携軸

G 坂本宿 タイプB 国道18号〔総幅員9.0m：車道9.0m / 交通量 約700台/12h〕

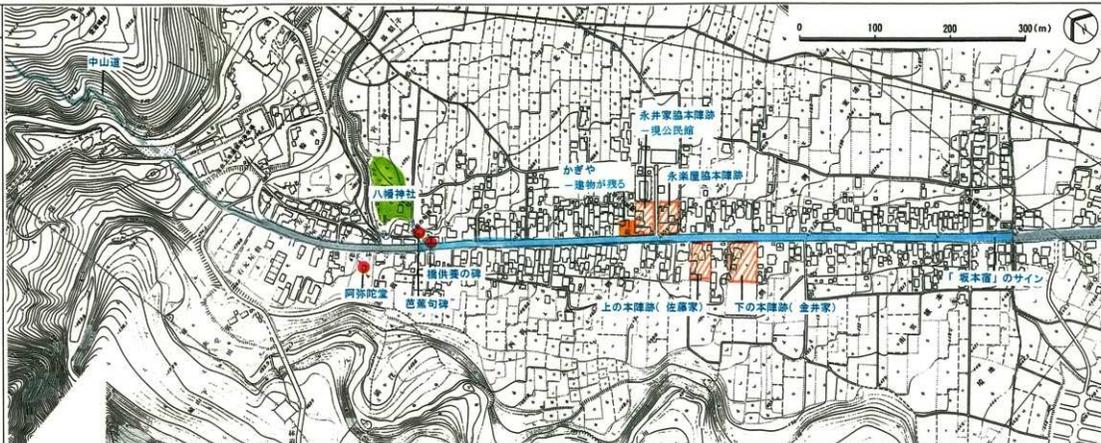
現況及び課題

【宿場の特徴】

- 群馬県内で最後の宿場である。
- 計画的に整備された宿場であり、地割りが正確に区画されていた。
- 道の中央に用水堀があった。

【現況】

- 道の線形、幅員等は原状をとどめている。
- 当時の地割りが比較的残っている。
- 宿場の道は電線類により景観が阻害されている。
- 坂本宿から碓氷峠までの道も、原状をよくとどめている。
- 宿場の入口に名称サインが設置されている。
- 歴史的な建築物はあまり残ってなく、ほとんどが住宅である。
- 交通量は少ない。



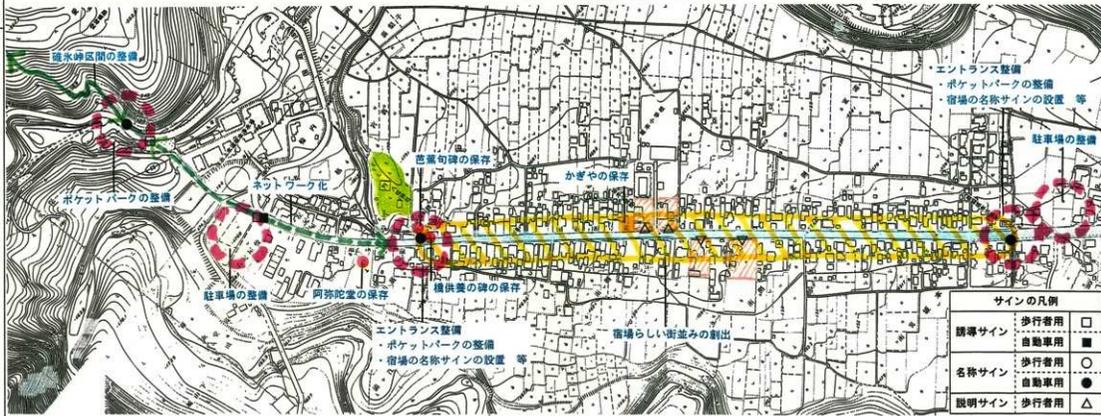
整備方針

【方針①】宿場の街並みの復元

- ◆道の線形、幅員の保存
- ◆現存する歴史的建築物の保存
- ◆沿道建築物の規制・誘導
- ◆道路舗装の復元
- ◆水路の復元
- ◆電線類の地中化

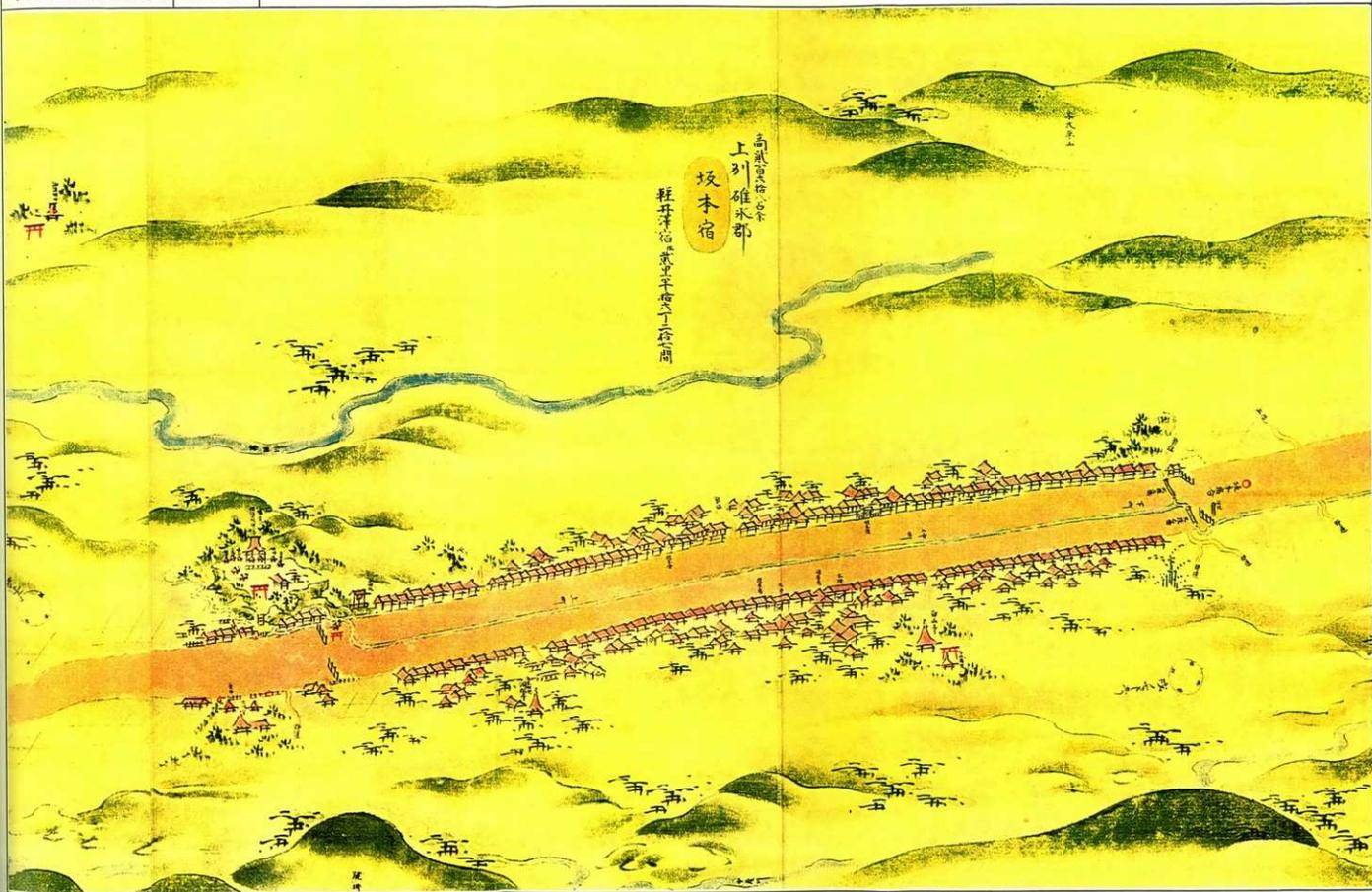
【方針②】碓氷峠区間の連携

- ◆碓氷峠区間のハイキングコースとしての整備
- ◆駐車場の整備
- ◆ポケットパークの整備
- ◆サインの設置 等

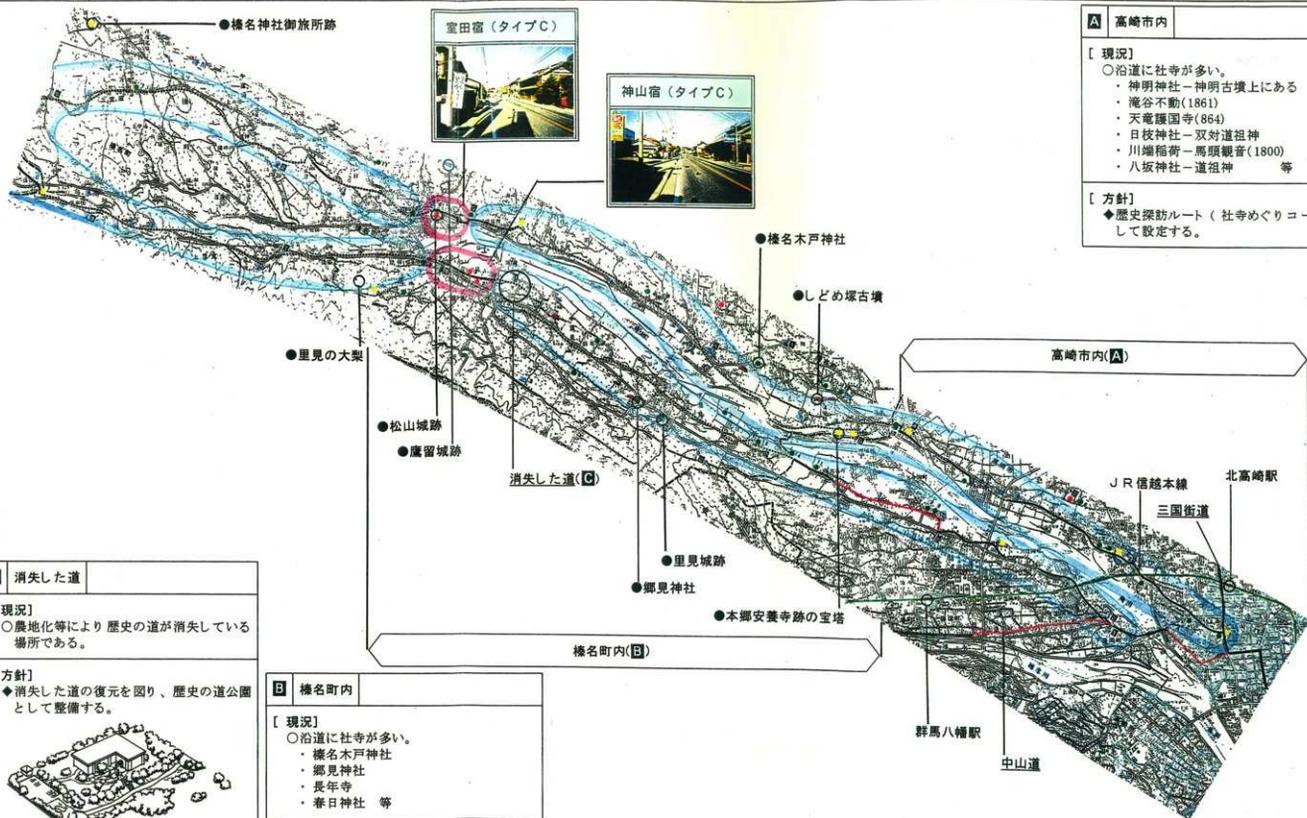
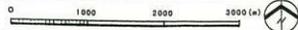


サインの凡例	
誘導サイン	歩行者用 □ 自動車用 ■
名称サイン	歩行者用 ○ 自動車用 ●
説明サイン	歩行者用 ▲

中山道分間延絵図 坂本宿



整備計画図 信州街道1 高崎市下豊岡町・相生町～榛名町上室田



A	高崎市内
[現況]	
○沿道に社寺が多い。	
<ul style="list-style-type: none"> ・神明神社－神明古墳上にある ・滝谷不動(1861) ・天竜護国寺(864) ・日枝神社－双対道祖神 ・川端稲荷－馬頭観音(1800) ・八坂神社－道祖神 等 	
[方針]	
◆歴史探訪ルート(社寺めぐりコース)として設定する。	

C	消失した道
----------	-------

[現況]
○農地化等により歴史の道が消失している場所である。

[方針]
◆消失した道の復元を図り、歴史の道公園として整備する。



B	榛名町内
----------	------

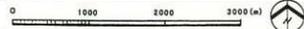
[現況]

○沿道に社寺が多い。

- ・榛名木戸神社
- ・郷見神社
- ・長年寺
- ・春日神社 等

[方針]
◆歴史探訪ルート(社寺めぐりコース)として設定する。

整備計画図 信州街道2 榛名町上室田～吾妻町萩尾



B	忠治とまどいの松
[現況]	
[方針]	
◆駐車場、休憩施設等を整備する。	
[整備イメージの例]	



A	小栗上野介居宅建設地
[計画]	
○小栗上野介の居宅として移築し、保存・活用を図る計画がある。	

歴史の道連携拠点	歴史の道連携軸
<ul style="list-style-type: none"> ・ 景観先導機能 ・ 案内機能(地域) ・ 情報機能(地域) ・ イベント機能 ・ 体験学習機能 ・ 観光物産提供機能 ・ 休憩機能 ・ 宿泊機能 ・ 交通結節機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 案内機能(地域) ・ 情報機能(地域) ・ 休憩機能

三ノ倉宿(タイプC)
歴史の道連携拠点



B 加部安左衛門関係遺跡

【計画】

○加部安左衛門居宅及び井戸の整備・復元を図り、資料館として活用する計画がある。



歴史の道連携拠点

- ・景観先導機能
- ・案内機能（地域）
- ・情報機能（地域）
- ・イベント機能
- ・体験学習機能
- ・観光物産提供機能
- ・休憩機能
- ・宿泊機能
- ・交通結節機能

須賀尾宿（タイプC）



●大戸関所跡(A)

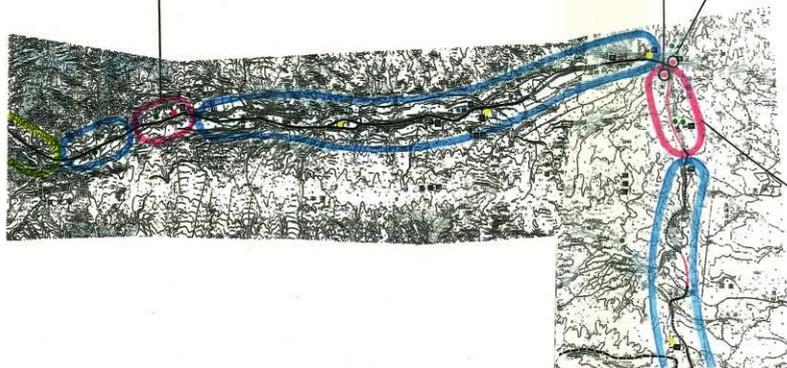
A 大戸関所跡

【計画】

○門を復元する計画がある。



●加部安左衛門関係遺跡(B)



大戸宿（タイプC）



歴史の道連携拠点

(C)

C 大戸宿 タイプC 国道406号 [総幅員7.0m：車道7.0m / 交通量 約2,000台/12h]

特徴及び現況

【宿場の特徴】

- 大戸宿は、信州、草津道の宿駅であり、三国街道、川原湯温泉、榛名山、伊香保温泉にも至る交通の要所であった。そのため、大戸関所が置かれていた。
- 信州からの物資輸送路であり、その地の利を得て上州一の分限者加部安左衛門が出現した。

【現況】

- 加部安左衛門の屋敷跡が現存しているが、それ以外には歴史的な建築物はあまり現存していない。
- 大戸関所跡には、記念碑と説明版がある。
- 電線類により景観が阻害されている。

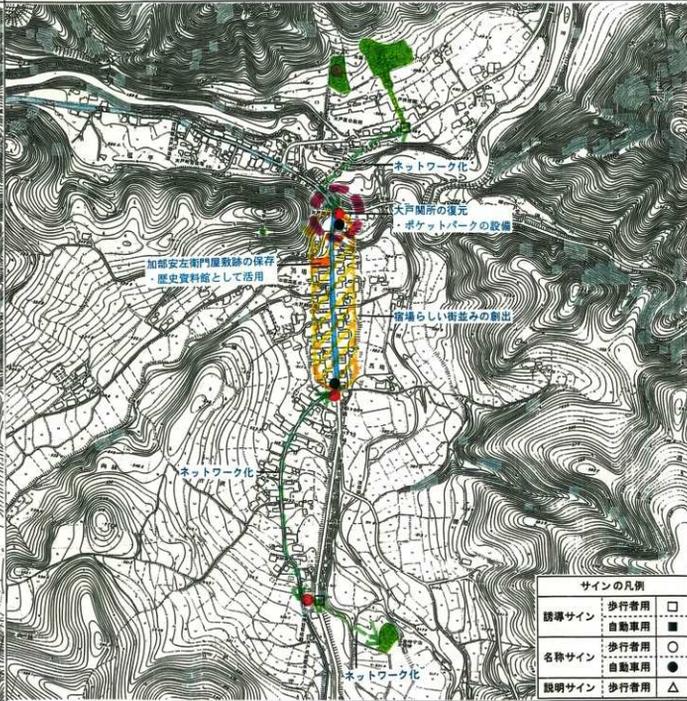
整備方針

【方針①】宿場の雰囲気を感じられる街並み整備

- ◆加部安左衛門屋敷の保存
- ◆歴史的な感じられる歩道の舗装整備
- ◆電線類の地中化 等

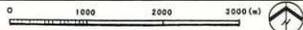
【方針②】歴史的資源の積極的な活用

- ◆大戸関所の復元
- ◆加部安左衛門屋敷の資料館としての活用
- ◆駐車場の整備 等



サインの凡例	
誘導サイン	歩行者用 □
	自動車用 ■
名称サイン	歩行者用 ○
	自動車用 ●
説明サイン	歩行者用 ▲

整備計画図 信州街道4 吾妻町須賀尾～嬭恋村大笹



大笹宿 (タイプB)
※信州街道5参照

- 嬭恋郷土資料館
- 嬭原観音堂 (E)
 - 延命寺石標欠損運しるべ
 - 延命寺石標



万騎峠への道 (C)

C 万騎峠への道

[現況]
○ 現状のままの道が比較的多く残っている。

[方針]
◆ ハイキングコースとして整備する。



- 峠茶屋跡
- 朝比奈三郎義秀の墓

E 嬭原観音堂 県指定史跡内

[計画]

- 屋根の葺替、建物改修が計画されている
- 「嬭恋村風土博物館基本構想」において石段展示施設の構想がある。

D 嬭原宿

[計画]

- 「嬭恋村風土博物館基本構想」において街並み整備の構想がある。

B 峠茶屋跡

[現況]
○ 昔茶屋のあった場所である。

[方針]
◆ 峠茶屋の復元を図る。

[整備イメージの例]

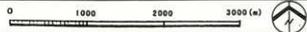
A 万騎峠

[現況]
○ 万騎峠の頂上にはブナの大木がある。
○ 説明板もある。

[方針]
◆ 休憩施設、駐車場等を整備する。

[整備イメージの例]

整備計画図 信州街道5 孀恋村大笹～鳥居峠



長井河原～田代湖 鳥居峠への道

【現況】

○原状のままの道が残っている。



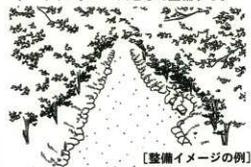
長井河原～田代湖



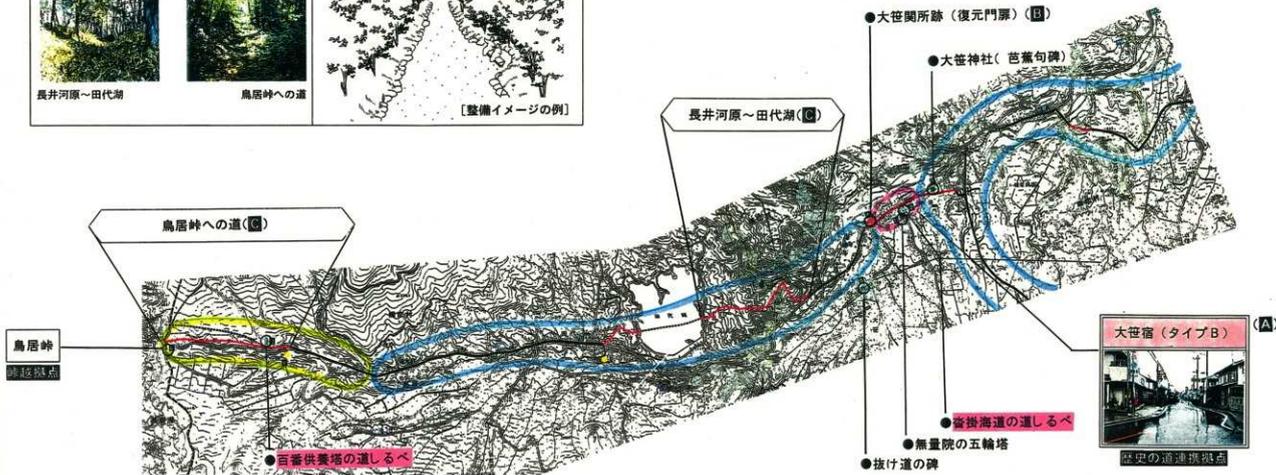
鳥居峠への道

【方針】

◆ハイキングコースとして整備する。



【整備イメージの例】



鳥居峠
歴史拠点

鳥居峠への道 (B)

百番供養塔の道しるべ

無量院の五輪塔
抜け道の碑



歴史の道連続拠点

大笹関所跡 村指定史跡

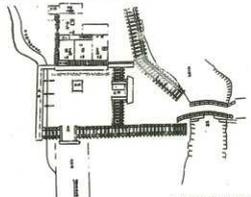
【現況】

○宿場の西側に設置された関所で、元は鹿野龍川の東側にあったが、現在は川の西側に門が復元されている。



【方針】

◆史料(絵図)に基づいて、積極的に関所の復元を図るとともに、大笹宿と一体的に整備し、観光資源として有効に活用する。



【大笹関所絵図】

大笹宿

【方針】

○宿場の街並みの整備を行い、大笹関所等の周辺の歴史の資源を含めた観光拠点として活用する。



【大笹宿の町割り】

歴史の道連続拠点

- ・景観先導機能
- ・案内機能 (地域)
- ・情報機能 (地域)
- ・イベント機能
- ・体験学習機能
- ・観光物産提供機能
- ・休憩機能
- ・宿泊機能
- ・交通結節機能

歴史拠点

- ・イベント機能
- ・体験学習機能
- ・休憩機能
- ・展示機能